

おひな祭り

ひな祭りは端午、七夕をはじめとする五節句の一つで、中国伝来の風習と言われています。

古代中国では3月の最初の巳の日に水で体を清め、厄を祓うという祭りがありました。その「上巳の節句」が日本に伝わったのと、日本に昔からあった人形（ひとがた）に厄を移す風習と一体となって雛祭りの原型が誕生しました。江戸時代になると、宮中行事として雛祭りが取り入れられるようになり、幕府の大奥でも取り入れられました。またこのころになると庶民にも雛祭りが広まり、女の子の初節句を人形を飾ってお祝いする形が生まれたと言われています。

当苑でも入所者様の健康を祈念しておひな祭りが行われました。



春を訪ねて、
春が香る町、
香春町へ

ふたばよもやま話 (第三回)

～ヨーロッパへ飛んだプロペラ～

大正14年、小倉南区道原出身の朝日新聞社航空部員、河内一彦さんが操縦して、遠くヨーロッパまで飛行した東風「こちかぜ」、号のプロペラが西大野八幡神社に奉納されています。

これは訪欧飛行の大壮挙を成し遂げ帰国後、故郷の氏神さまに神恩を感謝して愛機のプロペラを奉納したものです。

双葉苑近くに、世界に羽ばたいた歴史があるなんて驚きですよ。



西大野八幡神社拝殿に奉納された河内一彦さん愛機のプロペラ

職員紹介コーナー

今回は1グループリーダーの吉本竜太郎さんの紹介です。吉本リーダーは一言で表現したら「真面目」そのもので、利用者様はもちろん、苑内でも絶大な信用を得ている職員です。

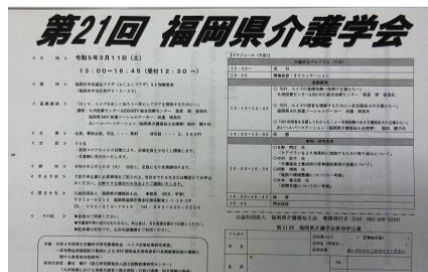
3月11日には福岡市において第21回県介護学会で「夜間支援についての一考察」というテーマで研究発表も行いました。



研究発表中と参加者よりの質問に答える吉本さん



介護福祉士会会長と発表者



介護学会資料



今月の予定 (4月)

- 石橋医院回診 (毎月曜日)
3日、10日、17日、24日
- 健康体操 (毎火曜日)
4日、11日、18日、25日
- ますゆき皮膚科回診
5日 (水曜日)
- 小倉北歯科回診 (毎木曜日)
6日、13日、20日、27日
- ビューティヘルパー
19日 (水曜日)
- 生花
26日 (水曜日)
- 花見 (苑庭)
随時

お知らせ

3月13日(月曜日)より新型コロナウイルス対策に最も有効と言われるマスク着用が個人判断に委ねられることとなりました。しかし他の感染症警戒も大切であり、利用者様の大切な命をお預かりしている当施設としては、気を緩めることなく、感染対策を行っていきたく考えています。

【編集雑記】

▼2月のある日、県内のある施設からご連絡をいただき、入所のご相談に伺いました▼その施設は精神的にデリケートな方がいっぱいいらっしゃることで、各所に配慮された工夫には、我々の高齢者施設とは違ったところもあり、とても勉強になりました▼入所を検討していた方には高齢な女性ですが、施設の職員の方の温かい対応に安心している様子がありました▼感じ取れ、頭の下がる思いがありました。▼初めて見る私に職員さんの事前ケアで特に警戒心もなく、いろいろなお話もできました。また入所は未確定ではありますが、施設を変わるにはただでさえ不安はあるはず。入所にはまだ時間あるから、時間あるときにできるだけ時間をつくって何度か訪問して顔見話していただければ後が楽だよとアドバイスをくださった主任の言葉を思い出して、このことを施設の方に提案すると、そんなことしていただけるのかと、喜びと驚きの言葉をいただきました▼私たちの仕事はまず心を通じ合うことから始まります。小さな心遣いが相手に安心感を与えられることを改めて実感しました【広報委員 O談】